

石垣ロータリークラブ週報

: 今月のロータリーレート \$ 1=110 円:



四つのテスト
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか



地区ガバナー: 松坂 順一氏【研修と活性化】

◆クラブテーマ『ロータリーを楽しもう!』

東京秋川ロータリークラブ

国際ロータリー第 2580 地区
今週のクラブ紹介

会長: 萩原 勇次 幹事: 齊藤 章浩

クラブテーマ: 友と語ろう『奉仕の理想』そして深めよう。

～未来ある楽しいロータリーライフの為に～

例会日: 毎週木曜日 12:30～13:30 (※第5木曜日 18:30～19:30 夜間例会)

例会場: 東京サマーランド・スポーツパーククラブハウス

～ 誕生 1973年6月 ～



【クラブの概況】

承認 : 1973年6月29日

認証式 : 1974年4月27日

親クラブ : 東京福生ロータリークラブ

会員数 : 正会員 48名

沿革 : 東京福生 RC より 10名の会員が移籍し、これがキーマンとなり、会員の拡大を開始し、チャーターメンバー23名を以て創立総会を持った。その後、会員の増強に努め、昭和49年4月27日、35名の会員を以て認証状伝達式典を挙行した。現在(2013年7月1日)会員数48名である。



☆: HAPPY ☆: BIRTHDAY ☆:

新賢 次氏 2日 大濱 透氏 7日 大城 文博氏 25日

《4月の予定》 17日(水)台北大同RC35周年式典振替休会 24日(水)夜間例会

会長: 遠藤 正夫 副会長: 橋本 孝来 幹事: 池城 貞光 副幹事: 大田 次男

例会日 水曜日 12:30～13:30

例会場 アートホテル石垣島 (0980) 83-3311

事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX (0980) 83-2917

URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

E-mail ishirota@ninus.ocn.ne.jp

《第36回4月3日(水)例会報告(通算2830回)》

ゲスト卓話

＜出席報告＞

＜司会進行＞東上里 和広

ロータリーソング:君が代 四のテスト

ソングリーダー:大浜 一郎

ビジター:神野 トキアリ

メイクアップ:大瀨 達也 漢那 憲隆 宮良 榮子 大浜 勇人 小林 昌道
前原 博一 仁開 一夫 森田 安高 吉田 貴紀

会員総数:44名

出席義務会員:43名

出席数:30名

欠席数:13名

出席率:67.44%

通算出席率:57.36%(3月)

本日のココロ

- *遠藤正夫:我那覇会員これまでありがとうございました。新部所頑張って下さい。池田先生ありがとうございました。
- *米盛博和:昭和に続いて新元号に私の名前1文字が入りました。これからは私の時代とは違って思いませんがうれしいです。和を持って歩き続けよう!
- *橋本孝来:池田さん、卓話頂きありがとうございました。神野さん、お越し頂きありがとうございました。
- *大浜一郎:久しぶりの参加になります。池田さん卓話ありがとうございました。
- *今西敦之:夜間例会お世話になりました。我那覇会員、またお会いしましょう。ご活躍記念申し上げます。
- *黒島剛:プログラム委員会の我那覇さん、石垣ロータリーライフお疲れ様でした。
- *我那覇宗広:3年間お世話になりました。心から感謝です。



◆BOX ¥7,000 (累計¥151,000) ◆コイン ¥3,322 (累計¥78,519) 合計¥229,519

会長挨拶:遠藤正夫



こんにちは。2日前に元号が発表され来月から「令和」に変わります。いい日本でありますように、平和でありますように願いたいと思います。我那覇会員が今年で移動されるという事ですが、是非また遊びに来てください。本日、急遽ですが19時からさつきで我那覇さんの送別会を執り行いたいと思いますので是非ご参加ください。今日は池田先生がお見えになっております。どうぞよろしくお願いいたします。

◆◆◆ 幹事報告:池城貞光 ◆◆◆

本日の理事会決定のご報告を致します。地区より2018-19年度「東北すくすくプロジェクト」ご協力依頼文書が届いております。東京RCが創設され日本RCが誕生いたしました。2020年には100周年を迎えるにあたり「被災地の赤ちゃんとママのために」を標語にプロジェクトの推進が決まりましたので当クラブからは5万円を拠出して協力する事といたしました。今年1月に友好締結をしました東京上野RC会員、約10名の方が来週の例会にメイクアップにご来訪されます。そこで4/9(火)に安栄観光の船で船上パーティーを開催いたします。船の定員が30名となっておりますので早めにお申し込み下さい。クルージング後の船上パーティーは定員はありませんので、多くのご参加をお願いいたします。17日は台北大同RC35周年典振替休会、24日はアートホテル石垣島のプールサイドで夜間例会、5/1休会、15日岡崎南RC周年事業振替休会、22日ゲスト卓話:八重山土木事務所、所長勢理客様

◆◆◆ 会員からの報告 ◆◆◆

情報・広報委員会:今西敦之氏

ロータリーの友の紹介をさせていただきます。14Pをご覧ください。「2万人を超えた米山奨学事業」当クラブも大浜勇人会員が地区に出向されており活躍をされていますが、年々米山の方も支援が増えてきて2万人を超えたと記載されていますが、その中でも近年米山奨学生が、私が思うところアジアに特化しているのではないかと思います。特に中国に対しては、類を見ない程、奨学生の受入れを日本がやっておりますが、それも如何なものかなというふうに私自身、個人的に思う所でございます。ロータリーは政治とは関係ないといいいながらも、中国の日本に対する取組とか、関係とかを報道とかで大いに触れていますが、やはり陽の当たらない国に奨学生を迎え入れた方がいいのではないかなと個人的に思っております。米山奨学生は将来、それぞれの国に帰って、日本との架け橋をする重要な人物でございますので、今後とも米山につきまちはロータリーも力を入れて頂ければと思っております。22Pのロータリーアットワーク地区ロータリーデーでポリオ撲滅活動をPR、第2660地区大阪府で行われました「地車 in 大阪城 2018」これは私も2年前まで大阪の八尾クラブに所属しておりまして、この事業には地区に出向していた際よくやりましたが、ロータリーの最重点課題でございますポリオ撲滅という事でございます。世界では約99.9%までポリオは撲滅しておりますが、なかなか0.1%が撲滅できないという事でビルゲイツ財団やWHO、ユニセフ等が支援しておりますが、ロータリーとしても今後もポリオ撲滅という所に全力を尽くして取組んでいくというような事が書かれています。16Pに4月は「母子の健康月間」となっております。今月のガバナー月信にも載っておりますが、地区社会奉仕委員長の田中会員から寄せられた文でございますが、毎年5歳未満で命を落とす子供は世界で推定590万人いると、その原因は主に栄養失調、適切な医療が出来ていない、衛生設備の欠如というのが上げられてい

るそうです。どれも予防可能な事でございます。ロータリーとしても活動としては教育や予防接種、移動クリニックまた女性に対しては HIV の母子感染予防や母乳による授乳等、病気予防に様々な点で活動を行っておりますが、母子の健康月間という事で当クラブも機会がありましたら、その事業に対して活動に取り組んでいけたらと思っております。

プログラム・親睦委員:我那覇宗広氏

この度、社内の人事発令があり4月からJTAの本社に戻り監査部長として那覇勤務になりました。3カ年間RCの皆さんとご一緒させて頂いて本当に嬉しかったですし、卓話も含めていろんなお話を聞きながら勉強して切磋琢磨させて頂きました。本当にありがとうございました。後任には金城智子さん、3年前まで八重山営業所長をしておりました。今は東京で空港所長になる為の研修を受けている最中であり。また、いろんな形で皆さんとも絆を続けていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。本当に3年間ありがとうございました。

ゲスト卓話:池田彩織氏(宜野湾RC)



北谷インターナショナル法律事務所代表弁護士

テーマ:LGBTの現状と企業の取組

私は宜野湾RCの池田彩織と申します。弁護士をしています。弁護士の立場から、客観的な所から見て、今わりと話題になっています「LGBT」についてお話しをしたいと思います。LGBTという言葉聞いた事がありますでしょうか？私はこのお話しをするようになってから去年の10月くらいから始めましたので5ヶ月くらい経っていますが、その間に随分意識が変わってきているように感じます。LGBTとは性的少数者(セクシャルマイノリティ)を表す言葉の一つとして使われることもあります。この機会に多様な性について考えてみましょう。性的指向とは、どのような性別の人を好きになるか、ということです。これは自分の意志で選び取るというより、多くの場合思春期の頃に「気付く」ものです。LはLesbian(レズビアン)女性同性愛者、GはGay(ゲイ)心の性が男性で恋愛対象も男性、BはBisexual(バイセクシュアル)恋愛対象が女性にも男性にも向いている。次に性自認(性の自己認識)とは、自分の性をどのように認識しているのか、ということです。「心の性」と言われることもあります。多くの方は「身体の性」と「心の性」が一致していますが、「身体の性」と「心の性」が一致せず、自身の身体に違和感を持つ人たちもいます。TはTransgender(トランスジェンダー)身体の性は男性でも「心の性」は女性というように身体と心の性が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人。「心の性」にそって生きたいと望む人も多く見られます。セクシャルマイノリティにはLGBT以外にも男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性を決められない分からない人など、様々な人々がいます。恋愛対象は異性だけとは限りません。あなた男性が好きですか？女性が好きですか？

それとも好きになる人の性別にはこだわりませんか？女性の恋人は「彼氏」男性の恋人は「彼女」と想定されがちですが、異性を好きになる人だけでなく、同性や両性を好きになる人もいます。あるいは、男性にも女性にも恋愛感情を抱かない人もいます。性とはとても多様なのです。性的少数者の割合については様々な調査結果がありますが、あなたの身近なところにも差別的な言動に傷ついている人がいる可能性があります。差別的な言動を見かけた時には「そういうのよくないよ」と一言、伝えてみませんか？みんなと一緒に笑わない、同調しないというだけではなく、よくないことを毅然と指摘する勇気も時には必要となるのではないのでしょうか。家族、友人、同僚から「レズビアンなんだ」「ゲイなんだ」「トランスジェンダーなんだ」などと打ち明けられたらどのようにしたらよいでしょう。打ち明けてもらえたということは、あなたを信頼しているというメッセージです。まずは真摯にその人の話に耳を傾けましょう。もしも、打ち明けられたことで戸惑った時は、感じた疑問や気持ちを素直に伝え、相手があるあなたに望むことは何か率直に聞いてみましょう。打ち明けた人も、打ち明けられ人も対等です。人間関係はお互い理解し合ことでつくられていきます。本人の許可なく、性的少数者であることを他人に暴露することを「アウトティング」と言います。軽い君や面白半分でアウトティングをしてしまったり、性的少数者であると打ち明けられたことを受け止めきれずに、他人について話してしまう場合もあります。しかし、自分のセクシュアリティを他人に知られたくない当事者にとって、アウトティングは重大な人権侵害です。本人の了解なしに決して他人には話さないようにしましょう。性的少数者に対する差別、職場や学校での差別的発言を聞いた事がある当事者は71.7%、カミングアウトをしているという人は27.6%という調査結果がでております(2016年)性的少数者に対する偏見や差別の例「ホモ」「オカマ」「男らしくない」「女らしくない」などとかからかう「どこかおかしいのでは」「問題があるのでは」「気持ち悪い」などとうわさ話をする。本人の了承なく、その人の性的指向や性自認について暴露する(アウトティング)こういった言葉は発してはいけなく考えられています。LGBT当事者の中には、性的指向や性自認をカミングアウトすることによって、「自分を偽ることなく生きたい」と思っている人が数多くいます。しかし、「カミングアウトをすると、これまでの人間関係が崩壊してしまうのではないだろうか」、「友人や職場の同僚から否定的な反応がかえってくるのではないだろうか」と悩んで、カミングアウトできない人たちもいるのです。LGBT当事者がカミングアウトしやすい職場環境をつくることは生産性を高めることにつながるという指摘がありますが、LGBTや、典型的ではない性別表現を嘲笑したり、からかいの会話が日常的にある環境では、カミングアウトすることは現実的に困難ではないでしょうか。自分のセクシュアリティを受け入れ、肯定する過程でもあり、自分らしく生きていくための手段の一つです。しかし、カミングアウトするかどうかや、いつ誰にどのように伝えるかは、当事者本人が決めることであり、周囲の人がカミングアウトを強要するようなことは、決してあってはなりません。アウトティングはプライバシー問題、選択の自由の侵害問題などを引き起こすことにもなります。プライバシーの侵害につながる可能性があるだけでなく、された側が差別やいじめによって居場所

を失ってしまう可能性もはらむ行為。誰もが自分の性的指向・性自認を尊重され、自分らしく生きることのできる社会をみんなで作っていきましょう。職場や学校のできること、地域のできること、何があるか考えてみませんか？ステップ1、まずは知るとい事が大切です。専門家／当事者から話を聞く、研修会を開催するなど、性的指向・性自認に関する知識を持つ機会を設ける。ステップ2、習慣・常識を変える、身の回りの習慣や常識となっている考え方を今一度点検し、性的指向・性自認に関する差別やハラスメントにつながるものはないか、見直しが必要なものはないか考えてみる。ステップ3、理解者を増やす。組織内に性的指向・性自認に関する知識を持つ理解者を増やす。理解者に対して「理解者、支援者」であることを目に見える形で行動することによって、当事者たちの応援の姿勢やメッセージにつながることを知らせる。家族、学校、職場の中で、当事者が、「自分の居場所がある」と実感できる機会を増やしていくことがとても大切です。たとえ一人でも、きちんと気持ちを受け止めてくれる人、安心感を与えてくれる人がいれば、前向きな気持ちが生まれるものです。性は多様です。そして個人の尊厳に関わる大切な問題です。LGBTは特別な存在か。安心して働き活躍できる組織づくりとはLGBTと共に働く上で必要なステップとして、・身の回りにLGBT当事者がいることを想定する・LGBT当事者にとって居心地のよい空間づくりを心がける・職場の上司の不適切な発言・行動をどのように指摘するか考える・LGBT当事者と向き合う・カミングアウトを受けた際の対応・意図せず同僚がLGBT当事者だと知ってしまった際の対応。根底は信頼できる人間関係があるか。セクシュアル・マイノリティは人口の約5%～8%いると言われています。でも、「自分はセクシュアル・マイノリティに会ったことがない」と思っている人はきっとたくさんいるでしょう。多くのセクシュアル・マイノリティが、差別や偏見を恐れ、社会的に孤立し、存在を見えなくされている現状があります。世間の差別的な「空気」によって、カミングアウトしづらい当事者が多数を占めています。あまり知られていませんが、親に勘当され、行き場を失ってホームレス状態になっている若者もいます。自殺を考えたことのある率は異性愛者の何倍にもものぼり、実際に多くの同性愛者が自ら命を絶ててきました。そして、法的にみると同性愛者は日本にいないことになっていると言っても過言ではありません。結婚できないだ

けでなく、同性パートナーとの間の権利、相続権、税制の優遇などは一切認められておらず差別禁止法などありません。アライとは、英語で「同盟、支援」を意味する ally が語源で、LGBTの当事者ではない人が、LGBTに代表される性的マイノリティを理解し支援するという考え方、あるいはそうした立場を明確にしている人々を指す言葉です。皆さん、アライ(Ally)になりませんか？ひとりでも多くの方たちにLGBTとは何かを知ってもらうことから始めていきましょう。知ってもらうことで理解が進み、今まで自分がLGBTであることを誰にも話せなかった人たちも、また家族や知り合いがLGBTで誰に、どこに相談していけばいいのかわからなかった人たちも話していけるようになります。私が、LGBTについてセミナーを行うようになったきっかけは、LGBTという言葉は聞いたことはあるけれど、特別なものを感じて自分から進んでセミナーに参加することはなかったのですが、たまたま参加した所でLGBTの話を聞きました。講師の方が荒井さんという方で、アライの荒井ですと自己紹介をされた時に、アライとはこういう意味なんですよと説明してくれました。自分がLGBTではない人がどうやってLGBTの事を説明したらいいのだろうかとモヤモヤしていました。そこで、なるほどアライって言えばいいんだという事に気がついて、言葉を理解するという事で、アライと言えば言いたいことが全部伝わるということが分かり、セミナーでも人に伝えていく事が出来るし、まずは知ってもらう事が一番大事な事で、自分はLGBTではないけれども、支援していますよと伝えることを決意しました。LGBTフレンドリーという言葉もあります。これは企業などで表明しているところが多いです。LGBTの人達がいるので、人権侵害にならないように気をつけなくてははいけませんよね、という発想だけではなく、もう少し積極的に攻め込んでいくというか、ビジネスと捉えている話もあります。他の企業に先駆けて「うちの企業はLGBTフレンドリーです」と表明する事によって市場の目を引くことができ、この企業は進んでいる、意識が新しいとか親しみを持って貰える可能性があります。そういう部分に着目をして、ビジネスチャンスとして捉えている人達もいます。LGBTに好意的なサービス・商品を開発販売することは、新たな顧客の開拓につながる可能性もあります。私のHPには「LGBTフレンドリー」や「アライです」というふうに、日本語と英語で表記しています。ご静聴ありがとうございました。



～ 例会風景 ～



バナーのプレゼント
池田 彩織 様

卓話ありがとうございました。

